



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社

コード番号 4461 URL <https://www.dks-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 坂本 隆司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 浦山 勇 TEL 075-323-5955

四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	43,099	10.4	3,934	38.9	3,676	38.7	2,526	42.5
29年3月期第3四半期	39,054	△3.4	2,831	4.2	2,650	3.5	1,772	△1.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,265百万円 (80.0%) 29年3月期第3四半期 1,813百万円 (17.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	49.79	49.78
29年3月期第3四半期	33.54	33.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	73,668	30,695	39.8	578.11
29年3月期	69,046	28,044	38.9	529.94

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 29,344百万円 29年3月期 26,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,800	10.6	4,000	1.4	3,800	0.7	2,500	0.4	49.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	53,421,609株	29年3月期	53,421,609株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,661,260株	29年3月期	2,747,089株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	50,733,238株	29年3月期3Q	52,860,169株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、先進国を中心とした景気回復が継続したものの、欧州や東アジアなどを中心とした地政学的リスクにより、依然として先行き不透明な状態が続きました。わが国経済は、良好な企業業績見通しや雇用環境の改善を背景に緩やかな景気の回復基調が続きました。

化学業界におきましては、当期の基礎原料のナフサ価格は段階的に上昇しました。原油価格の上昇懸念もあり、世界的な景気動向ともあわせ先行き不透明感を残しています。

このような状況のもと、当社グループの5カ年経営計画「REACT1000－飛躍への行動を－」は、中間の年度であり、当社の第三の創業と位置づけております。ユニークさでトップになると掲げた「ユニ・トップ」のもと、今年度はお客様との緊密連携に努めた売上高拡大への強化を進めると共に、新設備を建設しておりました霞工場は、12月に非イオン界面活性剤製造設備の商業生産を開始し、未来づくりへの基盤とするマザー工場としての機能強化に一層努めました。

当第3四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は430億99百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は39億34百万円（前年同四半期比38.9%増）、経常利益は36億76百万円（前年同四半期比38.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億26百万円（前年同四半期比42.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<界面活性剤>

界面活性剤の売上高は、総じて伸長しました。

国内では、トイレタリー用途がやや低調に推移しましたが、機械・金属用途は好調に推移し、石鹼・洗剤用途は顕著に伸長しました。

海外では、塗料・色材用途がやや低調に推移しましたが、ゴム・プラスチック用途は堅調に推移し、繊維用途は順調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は160億85百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益は16億82百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

<アメニティ材料>

アメニティ材料の売上高は、総じて伸長しました。

国内では、セルロース系高分子材料は、飼料用途が低調に推移しましたが、医薬品用途は順調に推移し、エネルギー・環境用途は好調に推移しました。シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途が堅調に推移しました。

海外では、シヨ糖脂肪酸エステルは化粧品用途が好調に推移し、食品用途は伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は56億71百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は5億5百万円（前年同四半期比102.5%増）となりました。

<ウレタン材料>

ウレタン材料の売上高は、総じて伸長しました。

建築用途等の機能性ウレタンは大きく落ち込みましたが、土木用薬剤は公共工事の増加により大幅に伸長しました。フロン規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油は伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は71億5百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益は1億24百万円（前年同四半期比52.6%増）となりました。

<機能材料>

機能材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、水系ウレタン樹脂は繊維用途が伸長し、難燃剤はゴム・プラスチック用途が伸長しました。光硬化樹脂用材料はIT・電子用途が顕著に伸長しました。

海外では、光硬化樹脂用材料はIT・電子用途が伸長し、難燃剤はゴム・プラスチック用途が顕著に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は104億7百万円（前年同四半期比13.9%増）、営業利益は13億91百万円（前年同四半期比59.2%増）となりました。

<電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて顕著に伸長しました。

射出成形用ペレットは低迷しましたが、太陽電池用途の導電性ペーストは需要の回復により顕著に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は38億29百万円（前年同四半期比28.5%増）、営業利益は2億31百万円（前年同四半期比2億26百万円の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は390億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億49百万円増加いたしました。これは主に当四半期末日が休日であった影響等により受取手形及び売掛金が26億84百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は345億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億73百万円増加いたしました。これは主に四日市霞工場における非イオン界面活性剤製造設備の建設等により有形固定資産が4億90百万円、株価の上昇により投資有価証券が6億44百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は736億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億22百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は223億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億15百万円増加いたしました。これは主に当四半期末日が休日であった影響等により支払手形及び買掛金が15億6百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は206億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億55百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が1億64百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、429億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億71百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は306億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億50百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益25億26百万円及び剰余金の配当6億8百万円により利益剰余金が19億18百万円、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が5億8百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は39.8%（前連結会計年度末は38.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年9月28日付で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,379	9,831
受取手形及び売掛金	14,832	17,516
商品及び製品	6,692	6,779
仕掛品	35	30
原材料及び貯蔵品	1,683	2,002
前払費用	245	253
繰延税金資産	339	229
その他	2,750	2,460
貸倒引当金	△10	△8
流動資産合計	35,947	39,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,355	11,839
機械装置及び運搬具(純額)	5,646	6,408
工具、器具及び備品(純額)	407	449
土地	9,358	9,433
リース資産(純額)	700	625
建設仮勘定	922	123
有形固定資産合計	28,390	28,880
無形固定資産	387	367
投資その他の資産		
投資有価証券	3,217	3,862
長期貸付金	23	421
長期前払費用	324	234
繰延税金資産	51	132
退職給付に係る資産	264	363
その他	445	315
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	4,320	5,323
固定資産合計	33,098	34,571
資産合計	69,046	73,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,464	11,971
短期借入金	6,001	6,341
リース債務	299	299
未払法人税等	532	328
賞与引当金	603	332
未払事業所税	35	27
未払費用	386	231
繰延税金負債	2	-
その他	2,222	2,830
流動負債合計	20,547	22,362
固定負債		
長期借入金	18,593	18,757
リース債務	819	654
繰延税金負債	426	705
退職給付に係る負債	262	166
資産除去債務	72	73
その他	279	254
固定負債合計	20,454	20,610
負債合計	41,001	42,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,895	8,895
資本剰余金	7,218	7,219
利益剰余金	11,300	13,218
自己株式	△1,120	△1,086
株主資本合計	26,293	28,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145	653
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	206	210
退職給付に係る調整累計額	212	234
その他の包括利益累計額合計	561	1,098
新株予約権	3	-
非支配株主持分	1,186	1,350
純資産合計	28,044	30,695
負債純資産合計	69,046	73,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	39,054	43,099
売上原価	28,881	31,657
売上総利益	10,173	11,442
販売費及び一般管理費	7,341	7,507
営業利益	2,831	3,934
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	29	27
持分法による投資利益	71	46
その他	54	82
営業外収益合計	160	163
営業外費用		
支払利息	208	182
補償関連費用	47	160
その他	86	78
営業外費用合計	342	421
経常利益	2,650	3,676
特別損失		
固定資産処分損	79	91
特別損失合計	79	91
税金等調整前四半期純利益	2,570	3,585
法人税、住民税及び事業税	512	740
法人税等調整額	183	140
法人税等合計	695	881
四半期純利益	1,874	2,704
非支配株主に帰属する四半期純利益	102	178
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,772	2,526

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,874	2,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	378	508
繰延ヘッジ損益	5	2
為替換算調整勘定	△355	30
退職給付に係る調整額	△11	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△78	△1
その他の包括利益合計	△61	560
四半期包括利益	1,813	3,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,819	3,062
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	202

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ 材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス 材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	14,990	5,234	6,710	9,139	2,979	39,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	14,990	5,234	6,710	9,139	2,979	39,054
セグメント利益(営業利益)	1,622	249	81	874	4	2,831

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ 材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス 材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	16,085	5,671	7,105	10,407	3,829	43,099
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	16,085	5,671	7,105	10,407	3,829	43,099
セグメント利益(営業利益)	1,682	505	124	1,391	231	3,934

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。